

施策	4102 救急医療体制の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	急患センター・小児救急医療の充実強化、夜間救急における病院群輪番制病院の確保等を図るなど、万一の急病時に適切な救急医療を受けられる環境を整える。						
成果指標	急患センター年間延利用者数...5,800人（平成29年度目標値）（現状値5,746人）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	5,800.00	5,800.00	5,800.00	5,800.00	5,800.00
		実績	6,237.00	6,197.00	5,816.00	7,772.00	7,523.00
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	154,426	152,726	146,583	131,413	132,181
実績		154,424	152,684	151,845	130,828	134,928	
内 部 評 価	貢献度	基本方針が目指す姿である、身近な医療から救急医療まで様々な段階の医療を受けられる環境の整備に大きく貢献するものである。					
	達成状況	休日及び夜間の通常では医療機関にかかりにくい時間帯に、急な病気や怪我でも安心して診療を受けられる救急医療体制を確保できた。					
	課題	とちぎメディカルセンターしもつがが市内二次救急の唯一の病院であるため、救急医療充実のためさらなる連携強化が必要である。					
	取組方針	救急医療体制の充実のため、とちぎメディカルセンター、市医師会などの関係先と協議を進める。					
外 部 評 価	成果指標である「急患センター年間延利用者数」については、目標を大きく上回っていることから、救急医療体制は満足いく体制が整っていると感じる。 一次救急医療については、急患センターの存在が浸透し、その役割を十分にはたしているとともに、小児救急では、子育て世代の安心感に寄与していることは評価できる。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	272201	急患センター管理運営委託事業費				35,633	100
	272301	病院群輪番制病院運営等補助事業費				74,991	100
	272401	病院群輪番制病院設備整備補助金				3,882	100
	272501	除細動器整備事業費				1,690	100
	273101	小児二次救急医療支援事業費補助金				18,732	100

平成29年度 単位・基本 施策評価表 補表

施策	4102 救急医療体制の充実		
区分	妥当性	妥当	救急医療体制を整える上で必要な事業であり妥当である。
	コスト削減の余地	無	救急医療体制整備のためコスト削減は困難である。
	受益者負担	適正	受診者には、医療費を負担いただいている。
	上位貢献度	有効	地域医療全体の満足度につながるため貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	救急医療の適正受診を啓発しつつ市民が安心できる医療体制を構築し、成果指標の上昇を目指す。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	医療体制の充実を図るうえで、この事業の貢献度は高い。急患センター事業や病院群輪番制病院等の充実を図り、市民満足度の向上を目指す。	
	達成状況	急患センターの利用者は、目標値を上回った。このことは、一次救急の診療所として市民に浸透しているとともに救急医療に大きく貢献していると言える。二次救急の負担軽減に大きく寄与するとともに一定の効果があった。	
	課題	時間外の救急医療の適正受診を啓発し、かかりつけ医の普及促進を図る。	
	取組方針	医師会や関係機関と連携を図り、かかりつけ医の普及に努めるとともに救急医療の充実を図る。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	救急医療体制の充実は、上位施策である医療体制の充実に大きく貢献している。このことは、地域医療についての市民満足度につながっている。	
	達成状況	休日や夜間の通常では医療機関にかかりにくい時間帯に、急な病気や怪我でも安心して診療を受けられる救急医療体制の確保に努めた。急患センター利用者は大幅に増えている。また、この間に小児救急の診療場所を急患センターに移し、救急医療の集約を図った。	
	課題	救急医療の適正受診とかかりつけ医の啓発を行う必要がある。	
	取組方針	急患センターを運営する医師会や病院群輪番制病院など関係機関と連携し、救急医療体制の充実にも努めるとともに、かかりつけ医の普及啓発を行う。医療機関の適正受診を推進し、限られた医療資源を有効活用するとともに市民が健やかに暮らし続けることができる環境整備に努める。	